

こんにちは!

No.170  
令和2年11月1日

# しばた議会です



「議会ネット中継」への  
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ  
を参照してください。

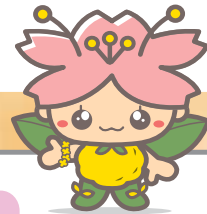
しばた ないかな 

一般会計の歳出決算

147億3,745万円



町の決算を家計にたとえてみました



はなみちちゃん

家の家計簿

収入 (歳入)

支出 (歳出)

収入項目	金額
基本給与 (町税)	148万円
パート収入 (分担金・負担金など)	22万円
貯金の引出し (繰入金)	17万円
昨年からの繰越 (繰越金)	3万円
親からの仕送り (地方交付税)	94万円
親からの特別な仕送り (国・県支出金)	129万円
銀行からの借り入れ (町債)	65万円
友人からのご祝儀 (寄附金)	23万円
その他 (財産収入)	1万円
合計 (総額150億6,873万円)	502万円

支出項目	金額
食費 (人件費)	72万円
医療費 (扶助費)	58万円
水道光熱費、日用品の購入 (物件費)	84万円
子どもの学費・仕送り (補助費、繰出金)	118万円
家の増改築 (普通建設費、災害復旧費)	80万円
家電、車の修理 (維持補修費)	3万円
会社への出資 (投資、出資、貸付金)	9万円
ローン返済 (公債費)	42万円
貯金など (積立金)	25万円
合計 (総額147億3,745万円)	491万円

※年収約500万円に換算

9月会議は、9月1日から16日までの日程で開催されました。令和元年度各種会計決算では、2人の議員が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査しました。その後ワールドカフェ、分科会、委員間討議を経て、2項目の提言をしました。一般会計決算は賛成多数で認定しました。

令和元年度決算は、一般会計歳入150億6千873万円、歳出147億3千745万円となり、過去最高額の決算となりました。

はなみちちゃん家の家計簿で見ると、収入では、給与(町税)の他に多いのは、親からの仕送り(地方交付税)、親からの特別な仕送り(国・県支出金)であることがわかります。これは国の交付金や有利な地方債を活用したことによるものです。また、シタイププロモーションによりふるとと柴田応援寄附金額も増えました。

支出では、台風19号による災害復旧費、全小中学校へのエアコン設置など、命に係わる安心安全面で予算が使われました。

今後とも、将来を見据えた財政規律と健全性を確保した町政運営に取り組むことが必要です。

# 令和元年度 歳出決算

決算総額

**239億5,631万円**

過去最高額

# 学校整備に重点

全小中学校にエアコン整備など

## 令和元年度 主な事業



### ふるさと納税

寄附額 6億9,346万円  
過去最高額

2億3,433万円  
(次年度に繰越 4億9,415万円)

### 台風19号 災害復旧

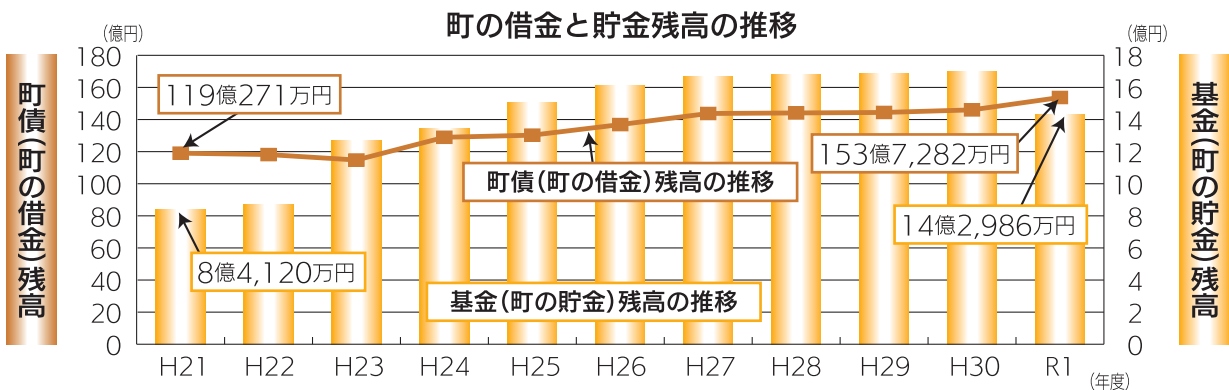


### 太陽の村 キッズバイクパーク

1億5,267万円  
内訳 特定財源 1億3,250万円  
一般財源 2,017万円

6億462万円  
内訳 特定財源 6億460万円  
一般財源 2万円

### 小中学校エアコン設置



※令和元年度町債は、一般会計分(152億2,562万円)と土地取得特別会計(1億4,720万円)の合計です。  
※基金残高は、財政調整基金と町債等管理基金の合計です。

### 監査意見書

代表監査委員 大宮正博

監査委員 桜場政行

令和元年度の一般会計及び各種特別会計の決算審査の結果は、いずれも正確で、関係基金の運用状況も適正に運用されている。

なお、次の事項について留意すること。

#### 町債発行の抑制

(1) 将来の公債費償還を見据えて町債残高が増加することのないように、町債発行額の抑制に努めていただきたい。

#### 持続的な関係性を

(2) 首都圏向けプロモーション活動や返礼品開発に努めた結果、大幅な増額となった。寄附いただいた方々との持続的な関係性を構築していただきたい。

# 令和元年度決算について問う

# 総括質疑



9月7日(月)に行いました

## 決算の財政分析は



白内恵美子 議員



**問** 将来負担比率が31・3割となり前年度より悪化した。要因は。

**答** 小中学校空調設備事業、学校施設大規模改造・トイレ改修事業、台風19号災害復旧事業などにより、起債が7億7千万円増えたため。

**問** 実質単年度収支額が、約2億8千万円もの赤字となった要因は。

**答** 当初予算の財源不足と、台風19号復旧事業や災害見舞金などで財政調整基金を取崩したため。

## 災害を想定したまちづくりを

**問** 今後のまちづくりは、災害対策を最重点事項とすべきでは。

**答** 令和2年度の施政方針に「誰もが安全安心に住み続けられるまちづくり」を戦略の第一に掲げ、自然災害から命や財産を守る事業を展開している。しかし、多額の予算が必要なため、国の交付金や補助金の有効活用、観光まちづくりに取り組み、ふるさと納税額を増やし、対策を講じていく。

## 負担金補助金のあり方は

**問** 補助金は町民の活動や経済を活性化させる役割を担っているが、往々にして長期化・固定化し、自主活動の弊害になり、既得権化する恐れがある。地方自治法では地方自治体の公益に沿う場合に認められている。次の内容を問う。

①負担金は義務的出資か任意の出資か。

②補助金は義務的か任意の。義務的であれば根拠は。任意的であれば目的や開始・終了時期は。

③運営費補助の積算根拠は。事業費補助の審査をしているか。

**答** ①負担金は義務的。②補助金はすべて任意的と考える。内容は要綱で決めており、町単独の補助は3年を原則とする。③必要事項は担当課の検証や、監査委員の審査を受けている。

**問** 基準や目的は要綱に無いが。

**答** 補助金名を示されないと、具体的に答えられない。



秋本 好則 議員



## ●決算審査特別委員会出欠状況及び審議結果一覧

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子
出欠状況	正副委員長の互選等	9.7	15				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度決算認定審議	9.8～9.10	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度決算認定審議	9.11.9.14～9.15	16				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度決算認定審査（議員問討議、まとめ）	9.16	16				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。 ※議長は決算審査特別委員にはならない。 ※「監」は監査委員として出席。

審議結果	認定第1号 令和元年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について	9.16	17	16	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
審議結果	認定第2～6号 各種特別会計歳入歳出決算の認定について（国保、下水道、介護、後期高齢、土地取得）	9.16	17	17	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第7号 令和元年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	9.16	17	17	0	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

# みんなの税金はちゃんと使われていますか？

## 歳入

財政課

森林環境譲与税の活用は

**質疑** 元年度に創設された森林環境譲与税は、約285万円が本町に交付され、基金に積み立てられている。今後どのような事業に使うのか。

**答弁** 民間の人工林で荒廃している部分の環境を整えることに使う。元年度は、近隣の市町と、将来担い手になると思われ

る仙南中央森林組合を中心とした話し合いを進めていた。

**質疑** 基金を利用した事業計画は。

**答弁** 町内の山林所有者に対し、今後、人工林をどのように管理していくか、意向調査を行う計画である。

財政課

臨時財政対策債は

**質疑** 臨時財政対策債がなくなった場合、再び緊縮財政を執らざるを得ない状況もあるのではないか。

**答弁** 臨時財政対策債がなくなる想定で、財政調整基金を積み増しており、ほかの基金を持っていることも強みになる。国の経済動向や制度の動向に伴うリスクに対応できると思っている。

## 歳出

まちづくり政策課

まちづくり推進センターと生涯学習センターの違いは

**質疑** まちづくり推進センターの事業内容を見ると、生涯学習センターや公民館で十分対応できると思われる。生涯学習センターとの住み分けなど、違いはあるのか。

**答弁** 生涯学習センターと公民館は、社会教育施設である。まちづくり推進センターは、民間や住

民のまちづくりの主体となり得るような方々をつなぎ合わせて、何かを生み出す重要な場を担っている。地域に向き、地域の方々から課題を拾い上げ、地域づくりを実現できるような相談を受け、中間支援組織であり、住み分けをしている。



町民環境課

不法投棄監視カメラの成果は

**質疑** 不法投棄の可能性の高い箇所で、12台の監視カメラが稼働している。その成果は。



**答弁** 12カ所については、かつて不法投棄があった場所や地域の方の意見を基に設置をした。設置により、不法投棄はなくなるといふ成果があり、非常に効果があると見ている。

カメラは見えることにより、その効果を得ると考える。状況に応じて場所は変えていきたいと考えており、数も併せて対応していきたい。

福祉課

ボランティアセンターの告知を

**質疑** 地域福祉センター機関にボランティアセンターがある。昨年の台風19号ではそこも被災したため、ボランティアセンターの開設が遅れた。その際、災害時にボランティアを依頼できることを知らなかった町民がいたことから、町が宣伝をする、お知らせ版に掲載するなどすれば分かってもらえるのではないか。何か早い段階で工夫できないか。

**答弁** ボランティアセンターは災害時などに開設される。早い段階に、町の自主防災組織などを通してお知らせしていきたい。

子ども家庭課

子育てサポーター増員の対策は

**質疑** 子育て支援ネットワーク事業はこれからも継続していくのか。新しいメンバーの取り込みなど、継続に向けた対策は。

**答弁** 今後も継続実施していく。お知らせ版やメール配信などを活用していく。また、サポーター募集のチラシで、随時募集をかけていきたい。



生涯学習課

小室達作品の常設展示を

**質疑** 昨年、小室達生涯120年の企画展を3月から6月まで開催し、郷土館に1千773人が来場している。本町出身で、仙台城址の騎馬像の作者である。常設展示を考えられないか。

**答弁** 現在、1階のホールで、小室達のブロンズ像3点と、小さな作品を展示している。作品数は少ないが、仙台城址の騎馬像の解説のパネルも思源閣のホールに展示してある。常設展に近い形で展示しており、今後どうするかは検討していく。



災害時に活動するボランティア



農政課

イノシシの捕獲頭数は

**質疑** 元年度のイノシシの捕獲奨励金209万円とあるが、鳥獣被害対策実施隊などの捕獲も含め、捕獲頭数は。

**答弁** 捕獲の仕方が3パターンある。鳥獣被害対策実施隊が1年中パトロールをしながら箱わな

をかけ、捕獲した頭数が107頭。11月15日から3月31日までの狩猟期間に有資格者による捕獲が209頭。環境省から委託を受けて猟友会柴田支部が捕獲したものが17頭。計333頭である。

健康推進課

からだ測定会は

**質疑** 元年度のからだ測定会の実施回数は10回で、前年比で4回増えているが、参加者数は減っている。その要因は。

**答弁** 平成30年度は、年度途中の健康まつりのときから、からだ測定会を始めた。元年度は定期的に保健センターで行っているため。

また、元年度は、毎月計っても変化が見えないので、2、3カ月置いて計測を行っているため、この数になった。新たな人も増えている。



都市建設課

船岡城址公園と千桜公園の整備は

**質疑** 公園整備費で、元年度は船岡城址公園の整備と、千桜公園の花壇整備にどのくらいかかったのか。

**答弁** 船岡城址公園は、ふれあいの森の委託で109万円、山頂の庭園整備に858万円、園路整備を含めると、合計で1千467万円。千桜公園花壇整備は429万円。



教育総務課

見守り隊員の減少対策は

**質疑** 見守り隊員は高齢化などにより人数が減っている。増員に向け対策は。

**答弁** 会合などに参加しての呼びかけや、学校と連携し、加入に向けて対応していきたい。

**質疑** 見守り隊員にジャンパーなど、備品の支援は。

**答弁** まちづくり政策課で持っているベストなどを使用している。今後は、教育総務課単独でそろえていかなければならないと考えており、検討していく。



商工観光課

創業支援事業で起業

**質疑** 連携創業支援事業者である商工会やしばたの未来株式会社と連携し、創業支援の取組体制を強化しているが、起業希望者などが、支援事業者制度を利用した実績は。

**答弁** 相談も含めて26人で、実際に創業に至ったのは4人と報告を受けている。

**質疑** どのような職種か。

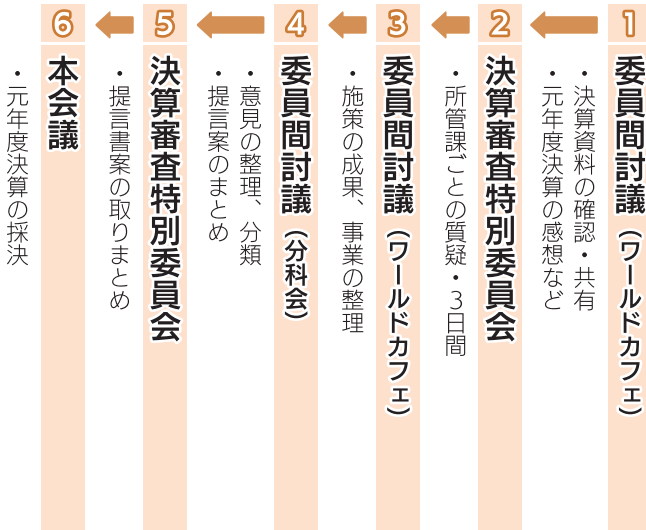
**答弁** 飲食業、製造業、小売業、サービス業である。

委員間討議  
経過報告

# 決算を検証する

令和元年度の各種決算は、決算審査特別委員会に付託し審査を行いました。特別委員会では、執行部への質疑だけでなく何度も委員同士で討議を重ね、元年度の町政運営について意見を交わしました。出された意見、課題の中から、全会一致となった2項目を、審査を踏まえた提言としてまとめました。

【採決までの流れ】



ステップ

1

## 委員間討議（ワールドカフェ）

◆総括質疑や決算資料などを踏まえ、どのようなことを執行部への質疑で明らかにしなければならないかを話し合う。

ステップ

2

## 委員間討議（ワールドカフェ）

◆質疑などの結果を踏まえ、決算について全体的に感じることを共有、その後、施策・事業を、足りないもの、さらに進めるもの、やらなくてもいいものなどに分類・整理。

・桜まつりなど観光事業の経済効果が不明。指標を作ってはどうか。

・災害対応決算となり、金額が膨らむのはやむを得ない。

・地域交通（デマンド）にこだわりすぎるのではないか。

・ふるさと納税について、プロモーション効果があり評価できた。

・命を守る安全対策が数多く実施されている。

・補助金を出している事業の目的、指標などを明確に。







# 令和元年度



ステップ  
3

(総務・文教厚生・産業建設)

常任委員会ごとに分科会

各分科会、頑張ってますね～



ステップ  
4

委員間討議(特別委員全員)

【委員間討議の手順】

- ①分科会の内容を全員で共有する。
- ②委員間で、確認したい事項について質疑を行う。
- ③②の内容などを踏まえ、分科会で再度話し合う。
- ④③の分科会の内容について全員で共有する。
- ⑤提言事項をまとめ、確定する。

## 令和元年度各種決算の審査を踏まえての提言事項

### 1. シティプロモーションについて

シティプロモーション事業で、しばた桜まつりなどのイベントの認知度が上がった。また、ふるさと柴田応援寄附金が過去最高になるなど、その効果がみられた。さらに効果を上げるため、SNS等の活用や、PRしていくエリアを関西方面にも広げるなどして柴田町の周知に努め、シティプロモーション事業を一層進めていただきたい。

### 2. 仙台大学との健康運動分野事業の再開と連携強化について

これまで、仙台大学とあらゆる分野において連携して事業を実施してきた。特に、健康分野において、令和元年度に実施した「健康タウンしばたプロジェクト+2019」は、仙台大学教職員及び学生の支援と、充実した設備・器具を利用することができ、町民から大変好評だった。しかし、このような事業は、継続することによって運動の習慣化を図ることができ、町民の健康維持・増進に寄与することが期待されることから、大学との協議を重ねて、事業を再開されたい。


# 議員はこう見た!!

各議員が「令和元年度の決算」について審議を重ね、熟考した結果、「賛否」を明らかにします。

A～E の 5 段階で評価する賛否の見える化をしました。それぞれの議員が自分の言葉で評価します。

**A** **元気なまちづくり**


太陽の村キッズバイクパーク整備は、元気な町作りに効果がある。



加藤 滋 議員

**A** **ふるさと納税が大幅に増収**


シティープロモーションが功を奏し、ふるさと納税が大幅に増えた。



森 裕樹 議員

**B** **さらなる農業振興策を**


里山ビジネス振興計画で知り合えた人のつながりの有効活用を。



平間 幸弘 議員

**B** **いじめ・不登校の対応**


いじめ・不登校の児童生徒への対応について力を入れるべき。



安藤 義憲 議員

**E** **町民のための観光か**


町民の税金が町民に使われているか、観光面や各補助金の検証が必要。



秋本 好則 議員

**A** **有利な補助金利用**


有利な補助金を利用し、学校施設の環境整備を大幅にすすめた。



吉田 和夫 議員

**A** **町のブランドに磨きを**


町のブランドカアップに磨きかけた施策に一定の効果があった。



平間奈緒美 議員

**B** **財政調整基金が減額に**

台風19号の復旧事業で単年度収支額が赤字になり、財政調整基金が減った。




高藤 義勝 議員

※なお、議長（高橋たい子）と議会選出監査委員（桜場政行）は、決算審査特別委員ではないためこの企画には参加できませんので、掲載していません。

# 令和元年度一般会計決算を

**B** 仙台大学との連携強化


健康タウンしばたプロジェクト+2019など、連携強化で好評。



安部 俊三 議員

**B** 多くの事業で安全確保


学校施設を含む多くの事業実施で、子どもなどの安全確保ができた。



佐々木裕子 議員

**B** 町のにぎわいがほしい


観光客誘致だけでなく新店舗、起業が増える直接的な施策がもっとほしい。



広沢 真 議員

**B** 待機児童の解消は

保育施設は作っても作っても感じはあるが、女性活躍社会には必要。



森 淑子 議員

**D** 観光政策やりすぎ


観光政策に力を入れすぎ。もっと住民のための他の政策に使うべき。



舟山 彰 議員

**A** 施設の魅力のPRを


キッズバイクパーク整備により施設の魅力と売上増加に期待したい。



有賀 光子 議員

**B** 正確、丁寧な説明


町は正確、丁寧に説明した。全体的に及第点である。



水戸 義裕 議員

**E** 観光事業1億円は疑問

観光事業より、水害対策にもっと力を入れるべきだった。



白内恵美子 議員

**賛成討論**  
加藤 滋 議員

国の各種交付金を積極的に活用し、小中学校空調設備設置やトイレ洋式化などの大規模改造事業に充当。北船岡町営住宅5号棟の新築、排水ポンプの設置、私立認可保育所の開設支援事業などの成果を挙げ賛成する。

**反対討論**  
白内恵美子 議員

綱渡りの財政状況にもかかわらず観光事業に約1億円も投入したが本当に必要だったのか疑問。台風は毎年やってくる。考え、令和元年度中に取り組むべき事業があったはず。住民の安心安全に對し十分ではなかった。

**討論**

一般会計  
歳入歳出決算の  
認定

# 教育環境の向上に大幅増額 13億6,918万円

7月会議は、小中学校情報通信ネットワーク整備工事請負契約案件2件と、令和2年度一般会計補正予算について提案され、原案のとおり可決しました。

## 7月議案第22号

### スケジュールは

**質疑** 飲食店や直売所で使えるスタンプラリーのスケジュールなどは。

**答弁** スタンプラリーは、農産物直売所、飲食店、テイクアウトを利用した場合の3種類がある。

それぞれ、3店舗分のスタンプを集めると応募でき、商品券や農産物が当たる。スタンプラリーは12月まで実施していく。



## 議案第31号

### 工事内容は

**質疑** 古河水門の開閉装置改修工事の内容は。

**答弁** 水門の門扉は2つある。1つは電動で開閉しているが、チェーンブロックで開閉していたもう1つの門を電動式に改修し、道路上でも操作できるように工事をするものである。



9月会議では、令和元年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業の決算のほか、令和2年度各種会計補正予算、人事案件、条例改正など17件が提案され、審議の結果原案のとおり同意、可決しました。

### 感染防止対策は

**質疑** 図書館受付カウンターの飛沫防止スクリーンは。

**答弁** 図書館と槻木分室に職員が手作りで設置していたが、新型コロナウイルス感染症対策として作り替える。図書館に5台、槻木分室に2台、返却用カウンターにも設置する。

### フロアアップは

**質疑** ふるさと納税者へのフロアアップは。

**答弁** 交流関係を深め、将来移住につながるように、ポストカードを作成し、お礼状とともに送る計画をしている。

## 議案第26号 生徒への配慮は

**質疑** 槻木中学校西校舎・体育館大規模改造工事における生徒への配慮は。

**答弁** 土日の作業など、できるだけ授業に支障が出ないよう工事を計画を組んでいる。学校とも調整しながら進めたい。

## 人事案件

○人権擁護委員の推薦

渡邊みち子氏(再任)

槻木下町

高木 年雄氏(再任)

西船迫

○教育委員会委員の任命

武田 則男氏(新任)

船岡字大住町



令和2年度  
7月・9月会議

# 新型コロナ対策と 一般会計補正予算

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の主なもの

地域循環型経済元気アップ事業 ※1世帯1万円の商品券を配布	1億8,000万円
飲食店及び直売所等利用拡大応援事業 ※飲食店や直売所などを支援するため、スタンプラリーを実施	1,600万円
持続化給付金上乗せ支援事業 ※国の持続化給付金を受け、限度額を超えた事業者の上乗せ補助を行い事業継続を支援	3,509万円
家賃支援給付金上乗せ支援事業 ※売上が落ち込んだ事業者に対し、家賃の一部を上乗せ補助	3,080万円
公共的施設等の安全安心確保対策事業 ①図書館受付のパーティションの設置 ②図書館トイレ自動水洗化など ③槻木駅・太陽の村（新館・旧館）トイレ自動水洗化など	3,027万円

## 教育施設の大規模改修事業

議案第26号	☆槻木中学校西校舎・体育館大規模改造工事	1億1,187万円
	☆西住小学校体育館大規模改造工事	6,526万円
	☆船迫中学校体育館大規模改造工事 建物内外壁の補修及び塗装、屋根の改修を行います。	5,610万円
	☆西住小学校プール耐震補強工事	6,038万円
	☆東船岡小学校プール耐震補強工事 プールの耐震補強及びプールサイド周辺の改修を行います。	6,567万円

## 財産の購入

議案第37号	☆情報学習機器（ノートパソコン）購入 町内小中学校全ての児童生徒、教職員用のノートパソコンを購入	9,961万円
--------	---	---------

# 本会議出欠状況・議案などの審議結果

## ●本会議出欠状況及び審議結果一覧（7月・9月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子
本会議	契約案件、補正予算、条例、意見書案等	7.30	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町政報告、議案説明、議案採決（人事案件）	9.1	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.2	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、議案審議（条例案件、契約案件、補正予算）	9.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度各種決算上程、総括質疑	9.7	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度決算認定採決、追加議案、意見書案	9.16	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案第 20 号～22 号	7.30	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	諮問第 1 号～2 号	9.1	17	17	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第 23 号	9.1	17	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第 24 号～36 号	9.4	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第 37 号	9.16	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

## ○議案等の内容

7月会議	
議案第 20 号	令和元年度東船岡小学校大規模改造工事（建築工事）（債務負担行為）請負変更契約
議案第 21 号	令和元年度小中学校情報通信ネットワーク整備工事（繰越明許）請負契約 ・文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想の実現」に向けて、町内の小中学校に高速大容量の通信ネットワークの整備。
議案第 22 号	令和2年度柴田町一般会計補正予算 <b>12 ページに掲載</b>
9月会議	
諮問第 1 号、第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて <b>12 ページに掲載</b>
議案第 23 号	教育委員会委員の任命 <b>12 ページに掲載</b>
議案第 24 号	柴田町町税条例の一部改正 ・新型コロナウイルス感染症等に係る寄附金税額控除の特例に係る入場料等払戻請求権の放棄についての規定を整備するもの。
議案第 25 号	柴田町太陽の村条例の一部改正 ・キッズバイクパークの施設設置と、その利用料金の規定を定めるもの。 <b>12 ページに掲載</b>
議案第 26 号	令和元年度榎木中学校西校舎・体育館大規模改造工事（繰越明許）（建築工事）請負契約 <b>13 ページに掲載</b>
議案第 27 号	令和元年度西住小学校体育館大規模改造工事（建築工事）（繰越明許）請負契約 <b>13 ページに掲載</b>
議案第 28 号	令和元年度西住小学校プール耐震補強工事（建築工事）（繰越明許）請負契約 <b>13 ページに掲載</b>
議案第 29 号	令和元年度東船岡小学校プール耐震補強工事（建築工事）（繰越明許）請負契約 <b>13 ページに掲載</b>
議案第 30 号	令和元年度船迫中学校体育館大規模改造工事（建築工事）（繰越明許）請負契約 <b>13 ページに掲載</b>
議案第 31 号	令和2年度柴田町一般会計補正予算 <b>12 ページに掲載</b>
議案第 32 号	令和2年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 ・元年度決算による繰越金の増額。
議案第 33 号	令和2年度柴田町介護保険特別会計補正予算 ・元年度決算による繰越金の増額。
議案第 34 号	令和2年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算 ・歳計剰余金の繰越しによる増額。
議案第 35 号	令和2年度柴田町水道事業会計補正予算 ・下名生農地ほ場整備事業に伴う水道本管及び給水管移設工事等による増額。
議案第 36 号	令和2年度柴田町下水道事業会計補正予算 ・人事異動に伴う人件費の増額。
議案第 37 号	財産の取得（情報学習機器） <b>13 ページに掲載</b>

# 議員が聞いた町政への 一般質問

9月会議では、議員18人中15人が質問しました。

## 吉田 和夫 議員 避難所に段ボールベッドを P15

- 新生児の給付金の対象拡大を

## 森 裕樹 議員 各種証明書のコンビニ交付を P18

- 水難事故防止の対策は

## 平間奈緒美 議員 運転機能を確認できる機会を P16

- 安心して教育が受けられる環境を
- アプリを活用した情報発信を

## 秋本 好則 議員 臨時財政対策債に問題はないか P18

- 町長のいう主体的行動の職員とは
- 船岡城址公園の斜面崩落を問う

## 舟山 彰 議員 新体育館建設は予定通りか P16

- ふるさと納税の視点を変えては
- 財政危機意識を高めるべきでは
- 災害避難所の停電対策はいかに

## 白内恵美子 議員 水門は一旦閉めるべきでは P19

- 入札監視委員会の設置を
- 「子ども宅食」の実施を

## 齋藤 義勝 議員 水害時の緊急避難場所は P16

## 佐々木裕子 議員 学校のコロナ感染防止対策は P19

## 加藤 滋 議員 香酸柑橘類の農園整備とは P17

- 安全安心に暮らせるまちづくりを

## 安藤 義憲 議員 子ども議会の開催目的は P19

## 森 淑子 議員 発達障がい児の現状は P17

## 広沢 真 議員 感染クラスター発生時は P20

## 有賀 光子 議員 避難所に乳児用の備蓄品は P17

## 水戸 義裕 議員 温暖化防止対策の公表は P20

## 桜場 政行 議員 保育所の民間移管計画は P18

### Q 避難所に段ボールベッドを

A 備品化していきたい

吉田 和夫 議員



災害時に使用するダンボールベッド

**問** 防災ラジオの設置者リストはできたか。

**答** 75歳以上で1人暮らしの高齢者と、補装具を装着している障がい者がいる世帯を対象としている。

**問** 防災ラジオの使用説明は。

**答** 行政区長や民生委員・児童委員の協力を得て、行政区単位で説明会を開催したい。

**問** 河川に監視カメラを設置できないか。

**答** 選定すべき機種の性能や価格、システムの技術革新の動向や維持管理コストなどを勘案し、調査研究に努める。当面は、現場の職員や河川管理者の河川情報、仙台管区気象台の大雨情報をもとに対応していく。

**問** 避難所の備品にダンボールベッドを追加しては。

**答** 備品化していきたい。

**Q 運転機能を確認できる機会を**

**A 関心の高まりなどを注視していく**

平間奈緒美

議員



JAFのウェブトレーニング

**問** 運転免許証を返納した高齢者に対して、支援策を講ずることができないか。

**答** 免許を自主返納した高齢者への支援としては、運転経歴証明書を提示することで、県タクシー協会に加盟しているタクシーを利用する場合、一割の割引を受けることができる。

**問** 運転機能を確認できる機会の提供を。

**答** ドライブシミュレーターの導入や高齢ドライバー向けウェブトレーニングサイト利用への要望は出されていない。今後、関心の高まりなどを注視していく。

**問** デマンドタクシーのみやぎ県南中核病院などへの、運行の可能性は。

**答** タクシー会社の事業経営を圧迫しかねない。今後も利用者、タクシー事業者にメリットがあるかどうか模索していく。



舟山

彰  
議員



**Q 新体育館建設は予定どおりか**

**A 計画を変更せざるを得ない**

**問** 新体育館建設予定地で、自衛隊が造成工事を実施しているが、新体育館建設の議会での最終判断は、令和2年度2月会議で行われることでしょうか。

**答** 台風19号による災害の発生や、新型コロナウイルス感染症への対応といった不測の事態が続き、建設に向けた準備が進められなかった。総合体育館建設予定地の造成工事にスポーツ振興基金を充てたことで、基金が縮小したことなどにより、これまでの計画を最低1年間繰り延べせざるを得ない。

令和3年度は民間資金による総合体育館建設に向けた(仮称)実行可能性調査検討委員会を設置し、民間活力を導入することで、より低廉で、効果的な建設方式を、改めて検討していく。



着々と造成工事が進む

**Q 水害時の緊急避難場所の確保を**

**A 決定次第、住民に周知する**

斎藤 義勝

議員



しっかりマニュアル化

**問** 今回、配布されたハザードマップには槻木地区の避難場所が槻木生涯学習センターと槻木小学校になっている。どちらも水害時は浸水区域である。緊急時の避難場所を掲載すべきだったのでは。

**答** 緊急の避難場所として公認されたものはない。今後新たに決定次第、住民に周知していく。

**問** 表蔵王国際ゴルフ場と駐車場確保の協定を結んでいるが、駐車場から避難所までのシャトルバスを運行できないか。

**答** 現在の職員数では難しいが研究してみる。

**問** コロナ禍の中の避難所開設訓練により分かった問題点は。

**答** 事前受付では非接触型体温計からサーマルカメラに変更するなど、参加者の意見をふまえて避難所運営マニュアルを見直す。



**Q** 香酸柑橘類の農園整備とは

**A** 入間田地区に果樹園構想の考え

加藤

滋  
議員



里山の新しい魅力

**問** 里山の魅力の磨き上げ事業での、槻木地区に新たな香酸柑橘類の農園整備とは。

**答** 地域の魅力と生業づくりを行うことが目的。現在、入間田地区でほ場整備の計画が進められており、地域の営農構想を検討する中で里山に果樹を植えるの景観づくりや将来の収穫体験、地元企業との連携を図りたい。

**問** 香酸柑橘類の内容は。

**答** スタチ・カボスの苗木50本。

**問** 柚子の近親種以外の考えは。

**答** ブルーベリーやイチジク、梅などの栽培を考えている。

**問** この構想には、農村地域と都市部を交流する拠点としての観光農園やレクリエーションを提供する地域づくりがあるか。

**答** フットパスや里山ハイキングなどで、農村地域を訪れる人をどんどん増やす取り組みをしている。今回の果樹園構想もその一つである。

森

淑子  
議員

**Q** 発達障がい児へ加配は適正か

**A** 保育士や教員を加配



**問** 発達障がい児に対して、保育士や教員の加配は適正に行われているか。

**答** 保育所に在籍している児童には、保育士1人を加配している。気になる子への対応として、在籍するクラスに職員を配置している。小中学校では、本年度はLD通級教室、言語通級教室の設置が認められ、4人の加配教員を配置した。さらに20人の特別支援教育支援員が支援している。

**問** 保護者にペアレントトレーニングを受けていただき、情報交換などの地域のネットワークをつくれませんか。

**答** 町内の乳幼児施設や学校の状態が分かる保護者が、それぞれの保護者とながるほうが、今悩んでいる保護者の心情に寄り添えると思う。担当の保健師が保護者の考えを聞いてみる。



造形教室で楽しむ子どもたち

**Q** 避難所に乳児用の備蓄品は

**A** 粉ミルクと使い捨て哺乳瓶を備蓄

有賀

光子  
議員



いざという時のために

**問** 住民主体で防災の取り組みを進めていく上で、行政としての支援は。

**答** 自主防災組織、防災士、防災指導員と連携し、出前講座や防災訓練などで支援していく。

**問** 避難所に段ボールベッドの確保など、設備面の充実が必要では。

**答** 避難所にとっては、非常に有効であると認識している。必要最低限度の段ボールベッドを避難所に用意する。

**問** 必要最低限度用意するとはどの位か。

**答** 各避難所5セット程度が必要最低限度と考える。

**問** 避難所に、ミルクや哺乳瓶・紙おむつなど、乳児のための物資を備蓄しているか。

**答** 乳児用としての備蓄品は、スティックタイプの粉ミルクと使い捨ての哺乳瓶を6力所の優先避難所に備蓄している。

## Q 保育所の民間移管計画の説明を

A 準備期間を十分に設ける

桜場 政行  
議員



新しくできた私立幼稚園

**問** 個別施設計画の各施設の取扱い方針に、保育所については10年以内に1施設を民間事業者に運営を移管と計画されているが、民営化の目的は。

**答** 民間事業者がもつ柔軟性や、効率を生かした多様な保育ニーズへの対応が期待できる。また、保育施設の老朽化に伴う再整備に関わる面が大きい。

**問** スケジュールは。

**答** 民営化方針を策定し、ガイドラインの作成、運営法人の公募といった流れで、新保育所の整備時期について検討する。

**問** 保護者や地域関係者に、目的や計画について十分な説明を。

**答** 準備期間を十分に設け、情報提供と意見交換を行いながら、信頼関係のもとに進める。また、地域の保育ニーズを反映して、保育サービスの向上を確実に期待できる事業者を選定する。

森 裕樹  
議員



## Q 各種証明書のコンビニ交付を

A 令和4年4月までに開始する

**問** コンビニ交付とは、マイナンバーカードを利用して、市町村が発行する印鑑証明や住民票を全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機で取得できるもの。土日祝日、夜間でも取得できるようにする。共働きなどで役場が開いている時間に行けない方や、急に証明書が必要になった場合など、最寄りのコンビニで取得でき、住民サービスの向上や利便性が高まる。町の窓口業務の負担軽減にもなり、導入を進めるべきと考えるが、町の見解は。

**答** 住民の利便性を高め、来庁の抑制にもなり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にも有効だと考える。システムの改修に着手し、令和4年4月までにコンビニ交付が開始できるよう準備していく。



とっても便利マイナンバーカード

## Q 臨時財政対策債に問題はないか

A 法律で財源保障のある地方債

秋本 好則  
議員



臨時財政対策債について考え直す時期と思い質問する。

**問** 臨時財政対策債は、後から入る地方交付金という根拠は。

**答** 地方交付税を算定する※基準財政需要額に算入されており、財源が法律で保障されている。

**問** 臨時財政対策債の発行された平成13年度よりも平成30年度の地方交付税の額が低い。

**答** 総額は景気動向で変わるのので厳密な相関関係はない。

**問** 臨時財政対策債権の返済は国の責任か自治体の責任か。

**答** 償還義務は自治体にあるが、実質的には国が負っている。

**問** 庁舎改修工事の財源はその7割が地方交付税で措置されるのか。

**答** 償還金相当額が基準財政需要額に算入されている。

※基準財政需要額Ⅱそれぞれの地方公共団体が必要とする一般財源の額を測定するもの。

### Q 水門は一旦閉めるべきでは

A 冠水を早めるので閉めない

白内恵美子 議員



開閉装置の改修が決まった古河水門

**問** 大雨が予想される場合、古河水門を一旦閉め、白石川の水位が下がったら開けるべきでは。

**答** 時間雨量当たり50ミリの場合、193秒から集まる水量は9万6千500立方メートルとなり、地区外排水路の最大流量8万8千700立方メートルを超える。閉めれば全く排水できず水が一気にたまり、とても早く早い時間で冠水した。西船迫の高い所まで雨水管から噴き出た可能性があり、閉めてはいけません。

**問** 水門があっても、役割を果たさないのか。

**答** 水門は川に影響を与えないために設置されている。七ヶ宿や蔵王、白石にかけて大量の雨が降り、柴田町付近が降らない時に閉める可能性はある。今回の場合は、閉めてはいけません。冠水・床上浸水させないために、古河水門を直したり、排水ポンプ車を購入し水害を防いでいく。



佐々木裕子 議員



### Q 学校のコロナ感染防止対策は

A 衛生管理マニュアルで対処

**問** 教員・学習指導員などの人員確保と態勢は。

**答** 県の補助事業である配置支援事業を活用し、20人の特別支援教育支援員に加え、学習指導員3人、スクール・サポート・スタッフ8人の任用を予定。

**問** 算数の問題演習など、自分の考えをまとめる活動は、家庭で行えば、子どもたちの学びの保障が、一層可能になる。

**問** 文部科学省が示した、学校でしかできない学習活動の重点化への受け止め方は。

**答** 算数の問題演習など、自分の考えをまとめる活動は、家庭で行えば、子どもたちの学びの保障が、一層可能になる。

**問** 町内小中学校の新型コロナウイルス感染症防止対策は。

**答** 文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、児童生徒及び教職員の健康観察を行い、感染防止に努めている。

**問** 文部科学省が示した、学校でしかできない学習活動の重点化への受け止め方は。

**答** 算数の問題演習など、自分の考えをまとめる活動は、家庭で行えば、子どもたちの学びの保障が、一層可能になる。



しっかり感染予防!!

### Q 子ども議会の開催目的は

A 生活と政治を身近に体験する

安藤 義憲 議員



子どもたち目線のまちづくり

**問** 国連で採択された子どもの権利に関する条約がもとで、子ども議会が開催されていると理解しているが。

**答** 社会科の授業の中で、議会を体験することによって、より深い学習ができることを目的にしている。

**問** 子ども議会は、町民が傍聴できないのか。

**答** 授業の一環として実施しているもので、一般の方の傍聴は行っていない。

**問** 子ども議会で街灯の増設が提言されている。子どもたちの安全、町民・住民安全のために街灯の増設が必要でないのか。

**答** 警察をはじめ関係課を含めて、子どもたちを守っていくという活動をこれからもさらに行っていきたい。

## Q 感染クラスター発生時は

A 保健所の指導に従い行動する

広沢

眞  
議員



避難所での感染症対策

**問** 新型コロナウイルスの検査体制は。

**答** 本人またはかかりつけ医などが帰国者・接触者相談センターに連絡し、保健所が対応。

**問** 搬送および隔離の体制は。

**答** 感染が確認されれば県調整本部により搬送先が調整され、保健所が搬送対応する。

**問** 災害発生に伴い、避難した時、感染者が出た場合は。

**答** 事前受付で発熱やせきが確認されたら専用スペースに避難誘導し、災害状況を見ながら保健所と対応を調整する。安全に配慮しながら医療機関などに誘導し、避難所内の消毒や濃厚接触者への対応もする。

**問** 避難呼びかけの周知は。

**答** 指定避難所以外への避難先を検討してもらい、手洗い消毒、マスクなど、感染症対策をとることを町ホームページなどで周知する。



水戸 義裕  
議員



## Q 町の温室効果ガス排出量の公表は

A 公表はしていない

**問** 地球温暖化対策基本法では、年1回温室効果ガスの総排出量を公表しなければならないが、町ではいつ公表したのか。

**答** 公表はしていない。

**問** 公表しなければならぬのに、していないのはなぜか。

**答** 認識が甘く、反省する。

**問** 平成23年策定の本町の温暖化対策実行計画は、対象施設を順次拡充することだったが。

**答** 計画は平成28年度で終了する内容。30年にできた県の計画を参考に31年度に第2次計画の策定を試みたが、台風の影響で延び、現在策定に当たっている。

**問** 総合計画実施計画の温暖化対策事業費が年間7万5千円だったものが、3万5千円と4万円下がっている理由は。

**答** エコポイントの事業費だが、昨年度の実績などが、当初の計画よりも下回ってきたので、実態に即して変更した。



みんなで守ろう地球環境

## 議会だより編集作業

### 読みやすい紙面づくりを

柴田議会だよりは、定例会の後、年4回発行しています。7人の委員がそれぞれのページを担当し、紙面を作っています。

企画、紙面レイアウト、原稿作成などの作業を行っています。

定例会情報や議会活動など、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努めています。

### ある日の編集風景



パンチャ  
パンチャ



いやっ、こっちはいいよ

この写真は？

### 170号作成スケジュール

- 7月28日 紙面リニューアル会議
- 8月28日 紙面リニューアル会議
- 9月 4日 企画会議
- 9月17日 編集会議
- 9月28日～10月1日 編集会議
- 16日 校正
- 21日 最終校正
- 11月 1日 全戸配布へ



### ひと言

ぜひ、読んだ感想をいただければ委員の励みになります。よろしくお願いたします。

# 総務

## 避難所のコロナ対策

### ■主な調査内容

- ①コロナ対策を踏まえた避難所について
- ②移住定住について
- ③空き家対策について

### ■調査結果

《総務課》

- コロナ対策を踏まえた避難所のレイアウト、人員配置等を明確化し、自主防災組織連絡会と連携をはかり各優先避難所ごとの訓練を行うこと。
- 《まちづくり政策課》
- 各課との連携を図り、移住定住に関する各種支援制度の事例研究し効果的な施策について検討を行うこと。



# 常任委員会レポート

各常任委員会では、法令に基づき各課の仕事を調査しています。

### ●総務常任委員会

令和2年7月20日～21日

### ●文教厚生常任委員会

令和2年7月8日～9日

### ●産業建設常任委員会

令和2年7月10日・16日



# 産建

## コロナ禍による商店街の現況

### ■調査内容

- ①コロナ禍による商店街の現況と休業補償等制度について
- ②令和元年台風第19号からの災害復旧状況について

### ■調査結果

《商工観光課》

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の各種補償制度は、申請者に混乱をきたさぬよう、商工会との連携を深め、サポートしていくこと。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した町独自の支援制度については、制度設計の趣旨を含めて丁寧に説明すること。



# 文教

## 健康づくりポイント事業

### ■主な調査内容

- ①歩くまち柴田推進委員会の進捗について
- ②健康づくりポイント事業について
- ③健康推進員、運動普及リーダーについて

### ■調査結果

《健康推進課》

- 歩くまち柴田の推進のため、ホームページを早急に公開すること。
- しばた健康づくりポイント事業は多くの方が参加しやすくなるよう総合的な見直しを検討すること。
- 健康推進員の役割の見直しが必要である。住民への健康情報の提供をはじめ、地域で活躍できるよう、業務内容を明確にすること。



# 柴田高校 × 柴田町議会

8月 最初の顔合わせ



12月 最後のまとめをしました



柴田町議会では、これからのまちを担っていく若者の意見を聴く「ワールドカフェ」を利用した懇談会を毎年開催しています。昨年度は議会懇談会実行委員会で、懇談会後に継続して生徒たちと数回集まり、「理想の暮らしが実現できる町にするために何ができるか」を話し合いました。

高校生からは、

- ① 行事に参加し盛り上げていきたい。
- ② 町の行事で演奏会をする。
- ③ 高校生が参加できる場所を提供してほしい。
- ④ 町ホームページや広報紙に高校行事を掲載し紹介したい。

などの意見が出されました。



わたなべ なつみ  
渡邊 夏生さん

議員さんとかかわることができ、よかったです。今回参加して、町のことを調べていくうちに柴田町のことが好きになりました。



さとろ あお  
佐藤 菜生さん

町について探したり調べたりできました。その中で行事を企画したり人集めだったりすることの大変さも学びました。今回のことは進路決定のきっかけになりました。



おかの あやか  
岡野 朱加さん

今までは議員さんとかかわることがありませんでしたが、今回のことで町や議員さんの仕事を触れることができ、よかったです。



なかがわ りある  
中川原 理有さん

はじめは参加するのが厳しく感じました。回数を重ねていくうちに、地域貢献できているのかなと感じ始めました。進学し地域経済を学び、町に密接にかかわっていきたいです。



おおば るか  
大場 琉翔さん

生徒会の一員として参加しました。自分たちの意見を取り入れてくれることに感服しました。町に貢献できたと思います。

## 今後の予定

議会では、議場でのコンサートや、議会だよりで柴田高校の紹介コーナーの掲載（原稿は高校生に依頼）、オンライン会議の実施（12月予定）などを予定しています。

今年度は、柴田高校生とのワールドカフェが開催できないことから、オンライン上でやり取りをしていく予定です。



将来の活躍が期待されます

柴田町議会

# 議会の活動

知りたい  聴きたい 

タブレットの活用編

## ICT活用 いよいよ始動へ！



7月 初めてのタブレット 第1回研修会



柴田町議会では、議会改革の一環としてICTを推進しています。タブレット端末もそのひとつで、今年7月より運用を開始しました。

9月会議より、議案書などの資料は、すべてタブレット端末での確認となりました。

現在は紙資料との併用ですが、今後はペーパーレス化に向けて取り組んでいくところです。



9月会議 議員全員、タブレットと格闘中

## 意見書提出 オンライン会議実現に向けて

新型コロナウイルス感染症拡大により、議員が隔離された場合においても、急を要する感染症対策議案の審議、議決が求められています。

総務省は、令和2年4月に委員会運営について、オンライン化は可能と見解を出しましたが、本会議でのオンライン化ができれば議会運営上の利点は限られてしまいます。

そこで、議会では「非常時には地方議会の判断で、本会議運営をオンライン会議などの手段による遠隔審議・議決を可能とするよう」、国に対して意見書を提出しました。



オンライン会議中

## フェイスブック始めました！



### 登録方法は

フェイスブック上で、柴田町議会を検索するか、町ホームページ→議会→柴田町議会公式 Facebook を検索してください。

## 議会基本条例に災害時の対応を追加

### 柴田町議会基本条例等の改正

議会タブレット導入に伴い、大規模災害時や感染症蔓延などの緊急時において議会の責任を果たすために改正しました。

条例改正に伴い、柴田町会議規則の一部も改正しました。

①災害時などやむを得ない理由により議事堂に参集することができない場合は、議長が別に指定する場所に参集。

②情報通信端末機器（タブレット）を会議、委員会、全員協議会で使用できる。



タブレットを活用して災害現場の情報共有

しばたの魅力をゆっくり楽しむ

## 柴田フットパスサポーターの会

フットパスとは、イギリス発祥で「ありのままの風景や自然を楽しみながら歩くことができる小路」と定義されています。本会は、白石川堤一目千本桜、蔵王連峰を背景とした田園風景や里山風景、城下町と宿場町、海軍火薬廠の歴史の面影が残る場所など全16コースを会員で調査の上、フットパスコースとして認定してきました。これらのコースを歩くことを定期的なイベントとして開催しています。コンパクトな柴田町を歩きながら、今まで気づかなかった新しい魅力をいっぱい発見していただければ幸いです。

## サークル紹介

今回から町内で活動しているサークルを紹介しします



みと ゆきこ  
水戸 幸子さん  
(船岡土手内)

船岡城址公園と白石川堤一目千本桜、蔵王連峰の眺めが好きです。会の活動を通して町の歴史や風景を新たに発見できました。



こんの みよこ  
昆野 みよ子さん  
(船岡中央)

柴田町の自然、花木、歴史、千桜橋からのながめが楽しみです。議員の方々には町全体のことを考えてほしいです。



よしだ としとく  
吉田 寿暉さん  
(槻木西)

私の一押しは「槻木縄文の海コース」です。フットパスで町を訪れた方にお勧めしたいおみやげ品や食べもののがもっとあるといいですね。

発行 宮城県柴田町議会 編集 柴田町議会広報常任委員会 宮城県柴田郡柴田町船岡中央一丁目3番45号 ☎0234-551226 印刷 伊藤印刷

### 議会広報常任委員会

委員長	森 淑子
副委員長	加藤 滋
委員	森 裕樹
委員	安藤 義憲
委員	平間 幸弘
委員	吉田 和夫
委員	平間 奈緒美

編集を終えて  
今号から紙面を一新しました。読みやすいよう工夫を凝らし、読む人の目に止まるように努力しています。一般質問も今まで1ページに2人分を掲載していましたが、ページ数を抑えるため3人分を掲載。詳しく知りたい方は、QRコードからご覧ください。  
(吉田 和夫)



「半年遅れの歯科検診」

## 12月会議の予定

12月会議は  
**12月7日**(月) 午前9時30分開会予定  
一般質問は  
**12月8日**(火)・**9日**(水)・**10日**(木)の予定  
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

## 議会ネット中継

- 議会生中継・録画放映をインターネット配信中!
- 一般質問などの内容をQRコードから見るができます。



柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより170号は、約16,200部作成しています。1部当たりの経費は約48.2円です。